

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客数は前年と比べると減少しているが、客単価としてはむしろ上昇しており、売上は戻りつつある。
	○	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・今月前半は毎週末の台風9号、10号の接近でかなり厳しい状況であったが、連休に掛けて来店客数が増えたように見受けられた。全国的に独自の新型コロナウイルスの警戒レベルが1段階下がった影響もあるかとみられる。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・以前よりは良くなっているが、やはり県民各位も不要不急の外出をしないこともあり、まだまだ新型コロナウイルスの影響がある。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンなどの割安感から、国内の観光客、地元客がリゾートホテルなどに集まり始めている。リゾート周りの飲食店は結構戻ってきているようだが、市内の飲食店はまだ30～50%ぐらいがやっとならぬ。
	○	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの影響によりホテルを休業していたが、今月はGo To Travelキャンペーンの効果もあり、少しずつ客が戻ってきている。
	○	住宅販売会社（代表取締役）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響はあるものの、公共工事や非営利活動法人などからの一定の受注がある。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・延長期間を含めて、緊急事態宣言期間では個人個人の自粛意識が大きく、24時間における来店客数も1000人を超える日がほとんどない。特に夕方夜間の来店客数は低迷を続けている状態である。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・沖縄独自の緊急事態宣言も9月上旬に解除された。また感染者の数も月末近くになって落ち着いてきている。一時的に9月19日からの4連休では観光客の動きが良くなったが、それ以降の予約数は増加していない。9月全体でみると客数は以前と変わっていない。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・少しずつ出張や旅行などは解禁となり動き始めてはいるが、それでも前年比で3割程度の取扱である。まだまだ先は長い。
	▲	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・9月の初旬まで緊急事態宣言が出ていたため、前年まで人気企画であった北海道物産展が開催できず、集客、売上にも大きく影響を及ぼしている。
	▲	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・旧盆需要が、新型コロナウイルス禍の影響で縮小傾向となっている。
	▲	スーパー（販売企画）	来客数の動き	・今月は月初で前年にはなかった旧盆需要があったことから良い状況で推移していたが、月末になり前年10月の消費税増税による駆け込み需要効果の影響から、客数が前年比で大変厳しくなり、売上も悪くなっている。
	▲	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で消費マインドが下がり、販売量が減っている。
	▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・キャリアのキャッシュレス関連の不祥事により、若干だが客数に影響が出ている。この影響か他社からの乗換えが減り、逆に他社へ乗り換える客は増えている。例年だと9月に発売となる人気機種も、新型コロナウイルスの影響により10月以降に伸びていることから、買い控えもあるようである。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で沖縄県独自の緊急事態宣言が出され、来県する客が減っている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でここ半年以上、店が潰れたり、状況が大変悪化している。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・観光関連、フードサービス関連が以前より少しだけ動きが出てきており、売上高も僅かながら増加しているが回復スピードは鈍い。このような状態が長く続くと、大変厳しい状況に追い込まれる取引先が出てこないか不安が付きまとう。

	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築に関しては、申込件数がやっと出始めている。リフォームは契約件数が増加傾向にある。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間工事向け出荷は共に前年比での減少が続いている。
	▲	会計事務所（所長）	取引先の様子	・4連休で観光客が戻りつつあるが、再度、感染者拡大の懸念がある。
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で一旦減少していた求人に出た動きが出て求人数が増えている。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数及び求職者が減少している。
	□	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・6月の週平均求人情数432件に対し、9月は449件で微増はしているが、余り変わらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の動きは3か月前と比べて余り変化がない。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・飲食店等は客が入ってきている感じがするが、求人数に直接影響を与えるほどではない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—